



け や き



No.1

甲府市立南中学校
令和3年4月26日
文責 渡邊 豪

新たな一步を踏み出すとき

令和3年度を迎え、4月6日に入学式、翌7日に始業式を行い、新年度がスタートしました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全国一斉の臨時休業措置が行われ、約2ヵ月遅れての新年度のスタートでした。早いもので、もう1年が経ちました。しかし、新型コロナウイルスへの対応は未だに続いており、現在は変異ウイルスの感染が拡大し、まん延防止等重点措置が適用されている地域が増え、緊急事態宣言が発出された都府県もある状況です。変異ウイルスは感染力が強く、若い世代も感染しやすい可能性が報告されており、高い警戒感をもって対応しなければならない状況にあります。学校における感染防止対策を再確認しながら、校内での感染がおこらないように丁寧な対策を継続させつつ、学校での活動はできる限り維持するようと考えていますが、今後の感染状況によっては、活動内容を制限せざるをえないこともあると思います。何よりも、子ども達が安心して学校生活を送れるよう、万善を尽くしてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。



さて、新年度を迎え、思いも新たに南中学校に入学した1年生、進級して後輩ができた2年生、最上級生となった3年生。それぞれの学年や個人がコロナ禍ではありますが、新たな環境で「頑張ろう」という思いをもって学校生活を送っている様子が伝わってきます。今月20日は、「穀雨」でした。穀雨とは「種まきや田植えの時期に降る雨」とされています。この時期の雨は「百穀春雨」とも呼ばれており、あらゆる穀物を潤し、育てる恵の雨と考えられています。私達大人は、子ども達の「頑張ろう」という思い潤し、育てる雨となり、その成長を見守っていく存在でありたいですね。ここで、次の詩を紹介します。この詩は、詩人であり児童文学作家である、藤川幸之助さんの作品です。

道

藤川幸之助

何度も転んだ。
 何度も何度も立ち上がった。
 そのたびごとに地団駄(じだんだ)踏んで
 踏み固めてきた私の道は
 あの山を越え
 私はまだ見たこともない私に出会い
 あの海に行き着き
 人の悲しみの深さを知った。
 顔に当たる風の強さで感じるのだ。
 血のじも膝の痛みで感じるのだ。
 立ち上がり歩み出す私の一歩が
 転ぶことに力強く大きくなっていることを。
 あの悲しみから踏み出したその一歩が
 この喜びへつながっていることを。
 私をつまずかせた石ころの中に
 転んだ私の心の中に
 私の明るい未来は潜んでいる。
 何度も何度も立ち上がり
 大粒の汗をしみ込ませて
 道が私の道になっていく。

(S) 『命が命を生かす瞬間』より

「頑張ろう」という思いをもち、新たな一步を踏み出しても、必ずしも順調にいくわけではありません。一步踏み出して上手いかず「何度も転んだ」としても、「何度も立ち上がり」、「転

ぶごとに力強く大きくなり」、「道が私の道になっていく」。この繰り返して、私たち大人も自分の道を歩んできたのではないのでしょうか。新年度に新たな一步を踏み出そうと努力している子ども達を、付かず離れず丁寧に支えていきたいと考えています。

令和3年度 入学式を挙行了しました

4月6日に令和3年度第74回入学式を挙行了しました。新入生151名を迎えるために、前日には新3年生と2年生が登校し、体育館の式場準備や学校各所の清掃等の環境整備を行いました。

入学式当日は、昼過ぎに職員室前フェンスに学級発表の掲示をしました。早くから待っていた方もいて、「ワクワクドキドキ」とした雰囲気、校長室にいる私にも伝わってきました。所属学級を確認後、新3年生の誘導で教室へ移動して入学式についての説明を受け、式場である体育館への入場を待ちました。司会の「新入生入場」という言葉を合図に、BGMが流れる中、緊張した面持ちの1年生が入場してきました。緊張はしているのですが、とてもしっかりとした態度で入場し、式の様子も立派でした。



これから始まる南中学校での3年間の学校生活が、充実したものになることを想像させてくれる姿でした。1年生のさらなる成長が楽しみだと感じる入学式でした。



【誓いのことば】 新入生代表による誓いのことばを紹介させていただきます。1年生の代表として大変立派な態度で大役を務めてくれました。(以下原文のまま)

校庭の桜も満開となり、吹く風も春のこころよさを感じ、すがすがしい出会いの季節を迎えました。このような春のよき日に私たち151名は、希望と期待を胸に、この伝統ある甲府市立南中学校に入学することができました。

今日からは中学生となり、小学校の時とはちがった、新しい多くの出来事が待ち受けていることと思います。まだ知らない未知の領域に進んでいくことは、楽しみではありますが、同時に不安でもあります。しかし、新しい仲間とともに、支え合い協力し合いながら、ひとつひとつ乗り越えていきたいと思っています。

中学校生活では、小学校とは違い、教科が増え、教科ごとに担任の先生も変わります。いろいろな先生方から教えていただける授業もとても楽しみです。新しい教科にも自分から進んで取り組んでいきます。

また、部活動にも力を入れていきたいと思っています。先ばい後はいの関係や礼儀、技術の上達のコツなど先ばい方にたくさん教えていただきながら、みんなと協力して、一つの目標に向かって全力でがんばりたいです。

中学生になった私たちは、今このときから、これまで以上に自分の行動に責任を持たなければなりません。しかし、一生懸命にチャレンジしてもうまくいかないこともあると思います。そんな時には、先生方、先ばいのみなさん、どうか力を貸してください。よろしくお願いします。

そして、今日、無事に入学を迎えられたのは、家族の支えがあったからです。感謝の気持ちと入学の喜び、そして緊張感を忘れず、ここにいる新入生の仲間達とともに、充実した三年間をつくりあげていきたいと思っています。

友達と切磋琢磨しながら、深く学び合い自分自身を高め、素晴らしい未来を切り開くことができるよう、新入生151名一丸となって日々努力していくことを誓います。

令和三年四月六日

新入生代表 小林 姫菜乃